

ふるさと大館へ

大館ふるさと会からのたより⑩

常任幹事

高橋 昭男さん

(埼玉県在住)

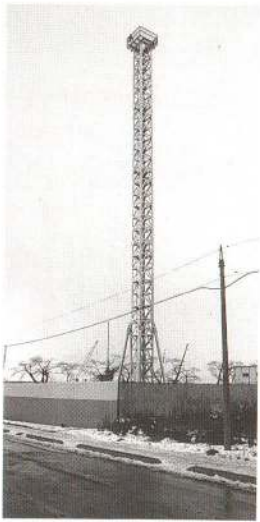


今、鳳凰山の嶺は雪化粧でありましょう。舞う雪にうつつすらと大の文字が浮き出、その頂には「市民の幸せと市の発展を無辺に照らし続ける」平成八年の明けの陽が昇ったことでしょうか。

子供心に「鳳凰山の頂上に白蛇を祀る社があり、女のかたが登ると必ず大雨が降る」という口伝え(本当かな?)を聞いたことがありますが、その山すそを流れる長木川を見渡せる小茂内の地で私は生まれ育ちました。その後、仏門に入り、比内、能代と流れてお勤めした私ですが、俗人となって暮らす今、年老いとともふるさと大館へ馳せる想いがふくらみ、「Uターン大館」を夢に思う今日このごろです。

上がりました。本年の総会も会長はじめ全役員が一丸となって、新たに頑張るつもりでいます。また、積極的な協力を惜しまない小畑市長をはじめ、市民の皆様一人ひとりの理解ある温かい気持ちで頂き、心通じるかけ橋を共に育みたいと考えています。

母校大館高校の生徒たちをはじめとした大館出身者の、多方面にわたる活躍に心踊る自分です。毎年、希望と夢とを胸に抱きながら学ぶため、働くために上京する彼らの中には、五年、十年、二十年と、私と同様に都会に腰を落着かせるかたもおられるのでしょうか。楽しいことばかりでなく、辛いことなどもあるうかと思えます。そんなとき、ふるさと会に参加して昔話に花を咲かせ、ふれあいを大切にしながら頑張っていってほしいものです。



大館地区多目的ドーム(仮称)建設現場撮影塔

ひねなあひこ

上野の大館地区多目的ドーム(仮称)建設現場の東側隣接地にそびえ立つこの塔、近所のかたは目にしたことがあるかもしれませんが、多くの市民は見たことがないはず。

ドーム建設現場では、工事の進ちょく状況を施主である秋田県に報告するために、毎月1回程度、天候の良い日を選んで現場の全景を写真やビデオに収めています。この塔が実は、建設現場撮影用の塔なのです。昨年7月に築かれたもので、高さは30メートル。塔の内側に昇り降りを使うはしごが組み付けられています。撮影の際は安全のため命綱を装着するのだそうですが、ピルの9階程度に相当する塔の頂上部は猫の額のような狭さ。普通の人ではきっと恐ろしくてまともに立ってはいられないのでは…。

大館の方言講座

「か」から始まる動詞

- ◆カッチグ…追いつく、駆けつく
- ◆カデル…世話をする、仲間に加える
- ◆カッチャグ…ひっかく
- ◆ガチャメグ…道路などがどろんこ状態になる。混乱する、乱れる
- ◆カップボグ…掻き込む、急いで食べる
- ◆カブケル…かびる、カビが生える
- ◆カマス…掻き回す
- ◆カラマル…絡みつく、まつわりつく、なつく

『大館市史』から

中央図書館の休館日……………1月21日、25日、2月11日、12日

親子読みかかせ会……………毎月第1金曜日 14時30分

1月のテーマ関連図書コーナー……………『子年・書道』ほか

児童書 ◆うぐいす(安房直子) ◆転校生は宇宙人?(阿部肇) ◆つかまえて学園の怪人(くらしき里央) ◆もしもしこちらメガネ病院(上野瞭) ◆ふたご島のポウとホウ(いっだよしこ) ◆ダヤンのおいしいゆめ(池田あきこ) ◆ゆきのふるよる(N・パトワース) ほか

一般書 ◆草原情歌(ガルサン・チナグ) ◆隔絶された少女の記録(ラス・ライマー) ◆父親学入門(三田誠広) ◆流木(西木正明) ◆僕が医者として出来ること(山崎章郎) ◆アフガン帰還兵の証言(スウェトラーナ・アレクシエーヴィッチ) ◆マツタケの丸かじり(東海林さだお) ◆わが千年の男たち(永井路子) ◆華の下にて(内田康夫) ◆巴里からの遺言(藤田宜永) ◆ウロボロスの基礎論(竹本健治) ◆違法弁護(中嶋博行) ◆忘れられた帝国(島田雅彦) ◆ロスト・ワールド上・下(マイクル・クライトン) ほか



『ボスニア・ヘルツェゴヴィナ史』

私の本棚

中央図書館新着図書

ロバート・J・ドーニャほか著 恒文社
民族と宗教が混在すると戦乱は避けられないのか。6~7世紀にスラヴ諸族がバルカン半島に到着した時代から社会主義ユーゴスラヴィアが崩壊するまでの歴史をたどり、紛争の起源をさぐる。